

Nampa Dream

～童貞から凄腕ナンパ師への道～

-The third lesson01-

※「札幌でのナンパ修行 前編」

※音声を文字起こしして、読みやすく修正したレポート

カメの相談：

師匠、前回のお話の続きなんですけど
23歳で仕事を辞めて、

凄腕ナンパ師になるって決めてから、
どうなったんですか？

会社辞めた後なんですけど、

「札幌」で「ナンパ修業をするぞ」
という目的で引っ越したんですよ。

「札幌」が昔出会った人に

「（都心部で）**日本で一番家賃が安い街**」
だと聞いた

ナンパするのに都市部の

どこに引っ越そうかと思ったときに、

「東京」や「大阪」も考えたんだけど。

お金無いしなと思って。

「貯金も10万くらい」しかなかったかな。

バンバン自己投資なんだけど、してて、

お金なかったから。

引っ越すなら東京行くより、札幌の方が
「固定費が安い」かなと思って。

人口も200万人くらいいるし。

「札幌は男よりも、女性の方が 1割くらい多い”女性余り”の状態」

という統計データもあるから、いっぱい女性が
いるんじゃないかなと思って。

札幌に引っ越してから「フルタイム」で働くと
「時間が無くなる」から、固定費浮かすの、
「家賃1万5千円のボロアパート」
に住むことにした。

ボロアパートに住んでる人もさ、

チンピラみたいな人とか、

生活保護を貰ってそうな死んだような目したオッサンとか、

不法入国っぽいインド人っぽいアジア系とか、

年金貰って孤独死しそうな雰囲気のおじいさんとか、

そんな人ばっか。

そこ引っ越して。食費も節約するために、

もやしと卵の炒めもの、白米、納豆、
味噌炒め、オムライス、ラーメンサラダ
などの節約レパートリーをずっと食べてた。

札幌でも **「月の生活費5万円前後」** で生活してた。

当時の **「月収は8万円くらい」** かな。

派遣もバイトとかで週2回とかで働いて、
他の **「時間を全部ナンパに投資しよう」**
とって。

家電販売をやってたな。

ありとあらゆるものを売ったからな。

エアコン、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、スマホ、
プリンター、炊飯器、色んなものを売ってた。

詳しいよ、俺(笑)

色々助けられた。
週2回だけど、時給高いからね。

生活は苦しかったんだけど、
自分の好きなことを全力でしてるから
「生きてる感じ」がすごく良かった。

本当大事。全力で挑んでるっていうのが。

いつもカメさんにも言うけど、
ひたすら自己投資して **「力を蓄える」**
ことを常にやってた。

(ここでの自己投資の意味は、知識、経験を通して、
行動力、忍耐力、思考力、洞察力、
コミュニケーション能力、などを磨く事)

当時は、もう「実践」に重きを置いてた

インプットはお金節約するのに、
「図書館」とかで本を読んだりとかして、
色んな理論とか、心理学、セールス、
とかそういう系を「実践」で試しまくっていた

ナンパやろうと思って引っ越して、
今でも覚えているけど、楽しかったけど

めっちゃ辛かったな。

ナンパ地蔵が本当に辛かった（笑）

札幌ならナンパ師もいると思ったんだよ。
でも、いないんだよね。

※ナンパ地蔵とは

「女の子に声をかけることができない状態のこと」

今も札幌でやっている人はほとんどいないし。
東京もなにかんだ、あんなにネットで
いっぱいいるみたいだけど、
あんまないよな。

カメ「そんなですよね」

目立つ奴とかいないし。
変な奴がたまに声をかけてるくらいで。

「毎日6時間以上、ナンパ地蔵で苦しんでた」

ナンパ地蔵をしていた「2か月間くらい」は、
「週5回」は街に行っていた。

6時間以上、ずっと声かけをする事が出来ずに
ズーっとフラフラしてさ。

声かけようとするのに、
右斜め前まで歩いてさ、目を合わせてさ
「あ、あ、あ」みたいな感じで

ビビって、声を掛けられない。

で声かけられないんだよ。それをずっと続けてた。

毎日「昼2時くらい」から「夜の10時くらいまで」
足ボロボロで、ジンジンと痛む。

本当、泣きたくなった。

こんな何一つ進まない状況が、
2か月くらいは続いたかな。

札幌に出てきて。大学出て就職もしないで、

「俺の人生は、大丈夫か。。。」

いや、ヤバイよな」

とって。

本当、ナンパ地蔵をしていた時期が
ある意味、精神的に一番つらかった。

「声かけすら出来ないとは。。。」

なんて情けない男なんだ」

と泣きたかった。

就職とか、お金とか、彼女とか、色んなものを
捨ててきて、ここまで環境を整えて

「声かけすら出来ないとは、笑えねえ」

と
思
っ
て。

「声かけて上手く話せないのが恥ずかしい」

「周りの視線が気になる」

「もしも罵倒されたり、冷たい反応されたら怖い」

「失敗をイメージしてしまう」

色んな **「言い訳」** とか「無駄な思考」が
入ってきて、声かけ出来なかった。

頭ではわかってる。始めたばっかだし

「失敗するのは仕方ないじゃん」

って。

失敗も経験でしょみたいな。

「色々な成功哲学的な本」とかも読んでたからさ。

「エジソンは2万回失敗してる」

「失敗する方法を学んだ経験に過ぎない」

のであるみたいなさ。

無意識に「言い訳」が脳内にガンガンと入ってくるんだよ

札幌でナンパを始めて、2か月くらい経ってから、
勢いで声かけをするようになって、、
1声かけ目に2時間とかかかるけど、
一応声をかけれるようになった。

でも「1日5時間～6時間」は街にいて 「5声かけ」とか。

最初ずっとそんなだったけど、
毎日やってればさ少しずつ声かけできるようになって

セックスしたりとかっていう「結果」が出なかった

連れ出しってのもできてなかったかな？
バンゲは出来ていた。

一応、少しずつだけど「成果」は出てたんだけど。

中々、望んだ上達ができなくて。

そんな時にカメさんも会ったことあるけど

「ストザル君」 っていう男の子と出会った。

街中で、僕自身が「ナンパっぽい動き」をしていた（笑）

「ナンパしてるんですか？」

といきなり男が声かけてきた。

オロオロ、キョドキョドしながら。

「何だこの人怖い」と思った(笑)

そしたら、彼が「俺もナンパしてるんすよ」
って言って、近づいてきた。

「俺、めっちゃナンパ地蔵してて」って
いきなり路上で声をかけてきた

当時、彼は大学院生で、冴えない感じの見た目で、
GUの服を確か着てて。ちょっとヨレヨレで。

「マジ俺めっちゃクズなんすよ」

って急に。

カメ「急に（笑）」

会ってまだ5分くらい(笑)

「いや、俺なんでクズかって言うと」
いきなり語りが入りだして。

意味がわかんないんだよね。怖かった。

ジゴロパンダ「（何だこの人）」

スト猿「なんでこんなクズかって言うと」

**「昨日もなんすけど親から仕送りを
貰ってんすけど、仕送りで風俗に
行っちゃったんすよ、マジでクズ」**

スト猿「最近**パチンコ**とか行きだしちゃって

マジクズなんですよ。しかも親の仕送りで！」

みたいに言って、頭めっちゃ抱えてんだよ。

なんだろう「この子」って（笑）

いきなり過ぎて「ポカーン」ってしちゃってさ。
「なんなんだろう？」この人と思って。

会って5分やで。3分くらいかな（笑）
急に語りが始まりだして「ああそうなんだ」
みたいに、どう反応していいか困った(笑)

スト猿君は、そんな時は **「100人切りしたい」**
みたいな形で、モチベーションめっちゃ高くてさ。

結局そのまま、一緒にナンパやったりするようになった

ノリが良いから、ノリが合うっていうか、
かなりモチベーション高いから。

結局、彼は

「ナンパで軽く500人切り以上」

はしたみたいだね。

この前に連絡取った時は、

**「彼女10人作ってしまって、
めっちゃ忙しいんすよ」**

「クリスマスめっちゃ大変なんすよ」

とか、なんか謎のことを言ってたけど。

そんな感じでね。

すごく「セックスするのに命をかけてる」

みたいな感じの子で。

ストサル君は、モチベーション高かったから、

店の情報とか、声かけの情報、活動状況を頻繁に交換してやり取りしてたかな。

札幌時代では「彼くらいかな？」

まともに関係が続いて会ってたのはね。

色々合流したりしたけど、微妙な人が多くて。

彼と、声かけとかの情報交換色々したりとかして、一番スゴイなと思ったのは、

スト猿「女の子にお酒一杯でも飲ませた方が理由付けになると思うんすよね」

パンダ「なるほど、そのために何かしてんの？」

スト猿 「なんか俺、**新しい技を発見**しちゃったん
すよ。飲ませるには”しょっぱいもん”を
食べさせるのが良かったんすよね。

パンダ 「ほーほー」

スト猿 「お店に居酒屋入ったらとりあえず
フライドポテト注文するんすよ」

パンダ 「へー」

スト猿 「女の子が”私飲みたくない”みたいな事を
言い出しても、塩気のあるしょっぱいもの
を食べたら、なんか飲みたくなるみたいな」

パンダ 「ああ、なるほど！」

スト猿 「女の子が酔わなくても、1杯でも飲むことで、
これがセックスする”**言い訳**”になるんすよ」

スト猿 「チャージのない飲み屋とかだったら、
フライドポテト300円とか500円くらいだから
お酒を1杯ずつ頼んでも、2000円くらいで
イケるんすよね」

スト猿「で、俺、家に連れ出しするから割り勘だと
1セックス1000円位で済むんすよ。
すごくないすか？」

パンダ「すげー！（凄い理論だなww）」

スト猿「**革命**っすよ！」

こういう超地味なテクニックとか、
理論とか、テクニックみたいなのか、
色々教え合って、やってた(笑)

話が戻るんだけど、

**「ナンパ地蔵をするのが、
めっちゃ怖い」**

からさ。また同じみたいに苦しむのが嫌でさ。

**ナンパ地蔵に戻らないように、
もう毎日、毎日、ナンパしてた。**

彼も結構ずっとナンパ毎日のようにしてたんだけど、
その時に気づいたのが、
「地蔵ナンパの克服法のコツ」として。

ナンパ地蔵克服のコツ1：

「街に出てすぐ声をかけるってこと」

だよね。まあ、教えてるけど。

変な思考とか、言い訳とか入ってくるから、
ドンドンと「自分の心が閉ざしてくる」から。

**普段から、女の子に意識が向いたら
すぐ声をかけるっていう。**

時間ない時はダメだけど。
時間がある時はすぐ声をかける。

ナンパ地蔵克服のコツ2：

「無心」で声をかける

恐怖とか、色んな不安とか入ってくるから。
「ネガティブな感情が心の中に入ってくる」

だから、入ってくる前に、素早く声をかける

何も考えないってことだよね。
全力を出して、やるだけやれば合格。

全力で毎回挑んで、成長していけば、
いつか成功するってこと。

ナンパ地蔵克服のコツ3：

「失敗しても良い」と思う

「全力を出せばOK」っていう。
全力を出して「**経験を糧に出来れば良い**」っていうかさ。

失敗をしたとしても、ちゃんと
「失敗した理由や原因」とかを学んで、
二度とやらなければイイかなって思う。

「反省しない」と意味でないけどね、
ただただ「勢い」で声をかけても。

ナンパ地蔵克服のコツ4：

「感覚を磨く」

これもカメさんによく言ってるけど。

結局「その現場」で
「なんて声かけよう」

「どうやったら成功するかな」
とかを考えても意味がないし、

思考を入れて考えたら

「会話テンポ」がめっちゃ悪くなるんだよね。

スポーツとか、楽器演奏とかと、トークは一緒。

**ただただ「感覚値を磨いていく」ことで、
何も考えなくても無意識で出来るようになる。**

そのためには「頭で考えない」という事ですね。

女性を観察して、女性からの情報を受け取って、
それに対して思考を入れずに反応をする。

例えば、女性が笑ったら、
それに対する言葉を言うようにしていく。

そのためには「現場にいないとき」の

「反省シュミレーション」 とか

「イメージトレーニング」 とか

をちゃんとやるってこと。

それをずっと繰り返して、

「反省⇒準備⇒実践⇒反省⇒準備⇒実践⇒。。。」

みたいなのをやり続ける。

ちょっとねここ、
抽象的で分かりづらいと思うんですけど、

例えるなら、カラオケで歌うときに、
音の鳴ってるメロディとかドラムとかリズムとかを
聞いて、歌いますよね。

他にもスポーツとかでもボクシングをやるとしたら、
相手が打ってくると。肩の動きとかを見て、
カウンターをとったりとか、野球でも
どんなスポーツでも一緒です。

どんなものでも一緒に、
「周りの情報」だったりとか、

ナンパとか、恋愛シーンとかの会話であれば、
「女性側の言葉」だったりとか、
「女性側のボディランゲージ」とかを感じて、

「女性の反応に対してどう対応していくのか」を
「パターン化」 していくってこと。

これに関しては、
頭で、思考で、その時その時の現場で、

「どうしよう」と考えても無理なんですよ。

ただ、練習して、完全にスポーツみたいに
「パターン化していく」という事。

スポーツだけじゃなく、ゲームでも一緒ですけど、
「ストリートファイターとか、
「メタルギアソリッド」とか
いろいろなゲームはありますが、

どんなゲームでも **「無意識に動けるくらい」**
にしないと **「上達」** はしないし **「攻略」** は
出来ませんよね。

それと「同じだな」と気づいたんですよ。

だから「全部パターン化していく」ってことを、
この時から「より綿密にし始めた」ってことです。

学校教育とかの癖で、頭で思考する癖が染み付いて、
「言い訳」ばかりをしてしまう。

トークでも、

「感覚が大事だ」

って気づいた。

そこからかな。

バンバン声をかけれるようになってきたの。

ソロナンパとかコンビナンパとかでも、

「連絡先」を聞いたりとか、「連れ出し」とか、

「準即セックス」 をできるようになった

※「準即セックス」は、

何度か一緒に遊んだりした後に、

エッチしたりとかっていうもの。

これを、ちょこちょこ出来るようになって来た。

最初は「ナンパした子に連絡先を聞いてた」

んですけど、全然つながらないケース多くて。

「10件」を聞いても、

良くて「1~2件」とかっていう感じ。

結局、連絡先を聞くだけで、コミュニケーションで、

「魅力を感じさせなくても」遊べる子もいたんだけど、

「めっちゃ暇」とか、

「女友達いない」とかね。

女友達いない女性って、
やっぱり癖ある子が多いよね。

ちょっと性格的に女性で

「女友達がない」

ってことは、なんか問題を抱いているから。

あとは、なんも趣味もなくて暇とか。

「ポジティブじゃないケース」
が多いなって思う。

※普通に、連絡先聞くだけのケースだと、
女性の男性に対するルックス、見た目、の比重が
大きくなるので、タイプだと思われたら
上手くいくケースが増えます。

やっぱり「連れ出し」をして、

「しっかりコミュニケーションを取る」

のが大事だなと考えるようになった。

バンゲだけするのに、50バンゲ、100バンゲとか
バンバンして、「反応の良い子だけ」を
拾っていくっていうスタイルもいいけど。

それだと、

「一人一人の女性に対して**雑な会話**になる」
ので、

反応の良い子だけを拾ってると、

「**意図的に魅力を与えるスキル磨かれない**」

「**トーク力、コミュ力が磨かれづらい**」

ために、本来の目的の

「**タイプの女性、好きになった女性を
惚れさせるスキルが磨かれない**」

という本末転倒な結果になってしまう

だから、そこから

「**連れ出し**」にひたすら特化した。

そこからかな。すごく伸びたのが。

「連れ出しダメな場合⇒連絡先をゲット」

という流れを徹底した。

- ・友達と待ち合わせ中
- ・出勤途中

などの、なにかしらの予定がある場合には
「連絡先ゲットのみ」に必然的になりやすいけど、

それ以外は「絶対に連れ出す、デートする」
くらいの気持ちで声かけしていた

活動のイメージとしては、
5連れ出し10バンゲとかね。
10連れ出し20バンゲ
っていった割合にね

なることが多いですね。

大体連れ出し数の2倍から3倍くらいに
必然的にバンゲ数が、増えてくるんですけれど。

第一目標として
**「連れ出しに特化するような
ナンパトーク、アクション」**
を作り上げていったって言うことですね。

バンゲ、連絡先ゲットだけだったら
**「いきなりナンパをしてきた
ヤバイ奴かもしれない」**

っていうネガティブ情報がつきまわりつく。

要するに、連絡先ゲットだけだと
「女性が持ってる情報」としては、

声をかけられました

↓ ↓ ↓

「ナンパしてきたヤバイ奴かも知れない男」

+

「ルックス」

+

「ボディランゲージ」

+

「3分～5分程度のトークの印象」

しかない訳（冷静に考えたら、当然です）

「第一印象だけ」の勝負になってしまう。

ルックスとか、雰囲気良くてさ、
ヤバイ奴はヤバイじゃん。サイコパス的な。

「まともな女性の感覚」 だったらね。

これだけの印象だと、失敗確率が高くなってしまうから。

だから、

できるだけ、連れ出して、お茶でも、飲みでも、

デートをして **「自分の魅力をちゃんと伝える」**

ってことをする一手間を徹底した。

余談ですが、僕時自身が、今まで出会ってきた
「セックスした人数が多ければ多いほど偉い」
「どんな女の子でも、セックスさえできればOK」
という「即系ナンパの達人」と呼ばれる人ほど、

「自分の魅力」を伝えなくちゃ「セックスできない」
という女の子は面倒なので、最初から相手にしないこと
を徹底しています（無駄を省く、損切り、と呼ばれます）

「ナンパ」という言葉の枠組み一つを取っても、
「目的次第」で女性とのコミュニケーションの取り方が
変わります。

ジゴロパンダのスタイルと、
「即系ナンパ」「声かけバンゲ最大化」
のスタイルとも違います。

違いを明確に理解した方が、ノウハウの理解が深くなり、
結果が出やすくなります。

「3分～5分の会話」をして「バンゲだけ」
「路上だけ」で終わっちゃうと、
なかなか自分自身の魅力を伝えきれない。

30分でもいいから、カフェとかでデートして、ちゃんと伝えるってこと。

話が面白い、優しいとか、カッコいいとか、頭良い、聞き上手、安心する、とかっていう魅力をね。

**1個だけでも、魅力が伝われば、
「女性との関係が繋がる確率」が
一気に向上する。**

少なくとも「ヤバいやつじゃない」って伝える。

社会生活をちゃんとまともにしてて、ちゃんと社交的で、友達とかもちゃんという。

とりあえず「危ないことはない」っていう情報だけは、会話の中で雰囲気として、伝えるってことだよな。

「ナンパ、女遊び、ばかりしている」

「危ない仕事している」

「他人を傷つける人間」

といったヤバそうな男だと思わせない。

自分と一緒にいると、楽しい、嬉しい、

安心する、ドキドキするなどの

「付き合うメリットを伝える」

ってことを結構徹底したかな。

あとは、その女性との間に「一回デートした」
っていう「実績」「既成事実」ができると、
「次に会う」「連絡を取るハードル」
という女性の心理が変わってくる

この辺のメリットも大きい。

「連れ出し」するととかは、後日のデートとかにね
「つながるケース」が「成功率8割～9割」
に増えた。

ここで成功率が一気に高くなった

タイプの女の子とだけ遊んで、
セックスしたりとか彼女にしたいっていう、
目的の人もいれば、

セックスする女の子を探したいだけ、
1人でもより多くの女の子とセックスをしたい

っていう目的の人もいれば、

キャッチとかスカウトとかやってる人も
多く連絡先を聞いて、数を打って、
条件が合う女の子を探したいって目的だったり、

それぞれでナンパのスタイルは変わる訳ですよ。

例えばですけど、
僕自身がやっている「連れ出しに特化する」
っていうスタイルは、

「タイプの女の子と遊んで、 セックスしたい、彼女にしたい っていう目的」

に適したしたパターンですよ。

1日に100人、200人、300人と多くの女性に
声をかけてって言う風の

「より多くのバング数を獲得する」

っていうスタイルもあるんですけど。

その場合は「セックスを出来る子だけ」
をただただ探したいとかの目的に適しているかな。

だから、僕自身の声かけて言うのも、
連れ出しが多いんで、必然的に路上での声かけ数は
少ないんですよ。

**僕のスタイルの場合は、
3~5人声かけて、連れ出してデートするから、
「一日に多くても50人前後の声かけ」しか
実際したことないんですよ。**

1日に「5~10連れ出し」とかしててもね。

その代わりに「デメリット」として、

「その日にセックス出来ない女の子が増えたり」とか、
「セックスするまでのプロセスが手間のかかる女の子」
「との出会いが増える」

という風に言えると思います。

**(連れ出しをして、カフェなどでデートをした際に、
会話してタイプでない子は、さっさとデートを
切り上げて、次のデート相手を探します)**

⇒

あくまでも、ナンパをセックスするための手段ではなく

「ナンパは、自分好みの女性との 効率的な出会いの手段」

という立ち位置で捉えているからです。

「単純にセックス人数を増やしたい人」からしたら、
「連れ出し率をマックスまで高めるスタイル」
は非効率かもしれないですね。

あとは、

キャッチとかスカウトで数を当たって、
「自分の話にのってくれる子を探したり」
とかいうスタイルにも合っていない。

色々なスタイルがあるんですけど、
連れ出しとかバンゲってあくまでも、
コミュニケーションツールの1つっていうね。

女性側の立場から考えれば、
「連れ出し」とか「バンゲ」っていうのも
あくまで1つの「体験」ですよ。

そのコミュニケーションのツールっていうのを

「ナンパという出会いをどういう体験として、

女性側に対して与えていくのか」

っていうそういう風な考え方は、
ものすごい大事ですよ。

その連れ出しを目的にする場合は、簡単に言えば、

「コミュニケーションの質」

をより重要視して、

バンゲ数を増やしたいとか、

声かけ数を増やす

ってスタイルの人は、

「より自分の条件に合う子」

「セックスしやすい子」

などの「何かしらの数値的な目標」を

達成するのには適していると思う。

キャッチとかスカウトの方みたいな。

それぞれ、目的1つで成功率とか、

選択するツールとかが、変わってはくるんで。

そこを自分なりに「ナンパスタイル選択していく」

って言うのがすごく大事。

臨機応変に色々なスタイルを考えてくって言うのも、ナンパという出会い方で、あなた自身の目的を達成していく為に、ものすごく重要。

「方法論」とか話すと時間が長くなっちゃうんで、講座とか聞いてほしいんですけど。

わかりやすくナンパスタイルをまとめておきます。

【ジゴロパンダ式のナンパスタイル】

●メリット

- 1：タイプの女性だけを選んで仲良くなれる
- 2：女性の質が良い（性格も、ルックスも好みを選べる）
- 3：声かけ数が少ないので、トラブル少ない
- 4：小手先のテクニックなどではなく、一度マスターしたら一生使える
コミュニケーション能力が身につく

●デメリット

- 1：セックスに手間のかかる子とも出会うので
セックス目的だけなら無駄な出会いになる
- 2：セックス人数が即系ナンパよりも増えづらい
（月10人以上はいけるけど）

【一般的なナンパスタイル】

●メリット

- 1：声かけ数多いので「すぐにセックスできる子」などの口説きの手間の少ない子を選んで、相手にすることができる
- 2：セックスする体験人数、バンゲ数、などを最大化できる
- 3：コミュニケーション能力が低いままでも結果出る

●デメリット

- 1：声かけ数などに頼るので、コミュニケーション能力が磨かれないので、相手にできる女性のジャンルが偏る
- 2：声かけ数が多いので、キャッチやスカウトなどとのトラブルに発展しやすい
- 3：若くて、ルックスが良い男性に向いているがそれ以外の場合は結果を出すのが難しい

あと、気づいたのが

「ナンパについてくる子」って、

「彼氏いないケース」 がほとんどだね。

彼氏がいるのに、ついてくる子もいるけど、

「すごいビッチ」

「彼氏に浮気されて浮気仕返してやるう」

「別れる寸前」

とか理由がある。

とりあえず言えることは「彼氏いないケース」がほとんどだから、ナンパでの出会いを上手くいくには

「恋愛対象に入ることが大事だな」

って思って。

特に、僕らが思う

「長く付き合いたい」って思うような魅力的で常識のある子の場合ね。

僕は、最終的に「セックスしたいだけ」じゃなくて。

**「彼女」としてとか、
「長く付き合えるような子を探したい」**

っていうのもあったからさ。

そういう視点もあったんで、ココすごく重要視してた。

「連れ出しに特化したスタイル」

にしてからかな。色んな子と遊べるようになったのは。

続きが気になるとは思うんですけども、
今回は「前編後編」に分けてお送りしていきます。

それでは、お仕事頑張ってください！